



平成29年 岐阜県鉱工業指数(年報)

【平成22年基準】

1 概況

生産指数	97.9	前年比4.5%の上昇
出荷指数	96.7	前年比4.2%の上昇
在庫指数	140.1	前年比5.9%の上昇

平成29年1年間の生産指数は、電気機械工業等が低下したものの、輸送機械工業、はん用・生産用・業務用機械工業等が上昇したため、前年比4.5%の上昇となった。

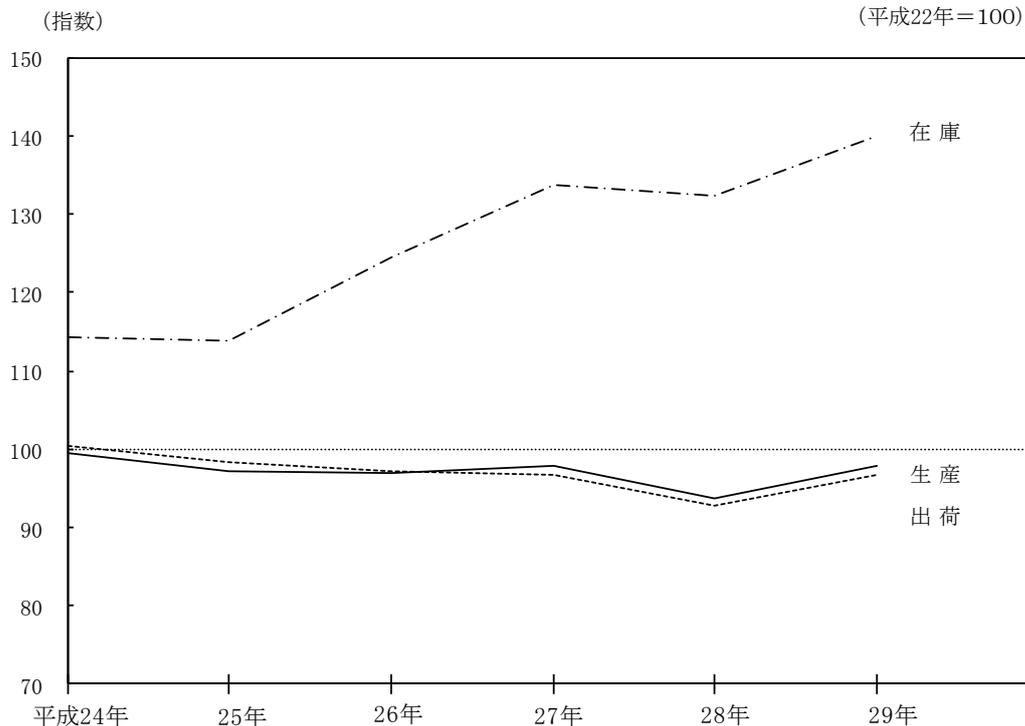
また、出荷指数は、輸送機械工業、プラスチック製品工業等が上昇したため4.2%の上昇となり、在庫指数は、食料品工業、プラスチック製品工業等が上昇したため5.9%の上昇となった。(図-1)

(平成22年=100)

区分	生産		出荷		在庫	
	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)
平成24年	99.5	△ 3.0	100.3	△ 1.5	114.4	6.4
25	97.2	△ 2.3	98.2	△ 2.1	113.8	△ 0.5
26	97.0	△ 0.2	97.2	△ 1.0	124.6	9.5
27	97.8	0.8	96.6	△ 0.6	133.7	7.3
28	93.7	△ 4.2	92.8	△ 3.9	132.3	△ 1.0
29	97.9	4.5	96.7	4.2	140.1	5.9

(注) 年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

図-1 岐阜県鉱工業指数の推移(原指数)

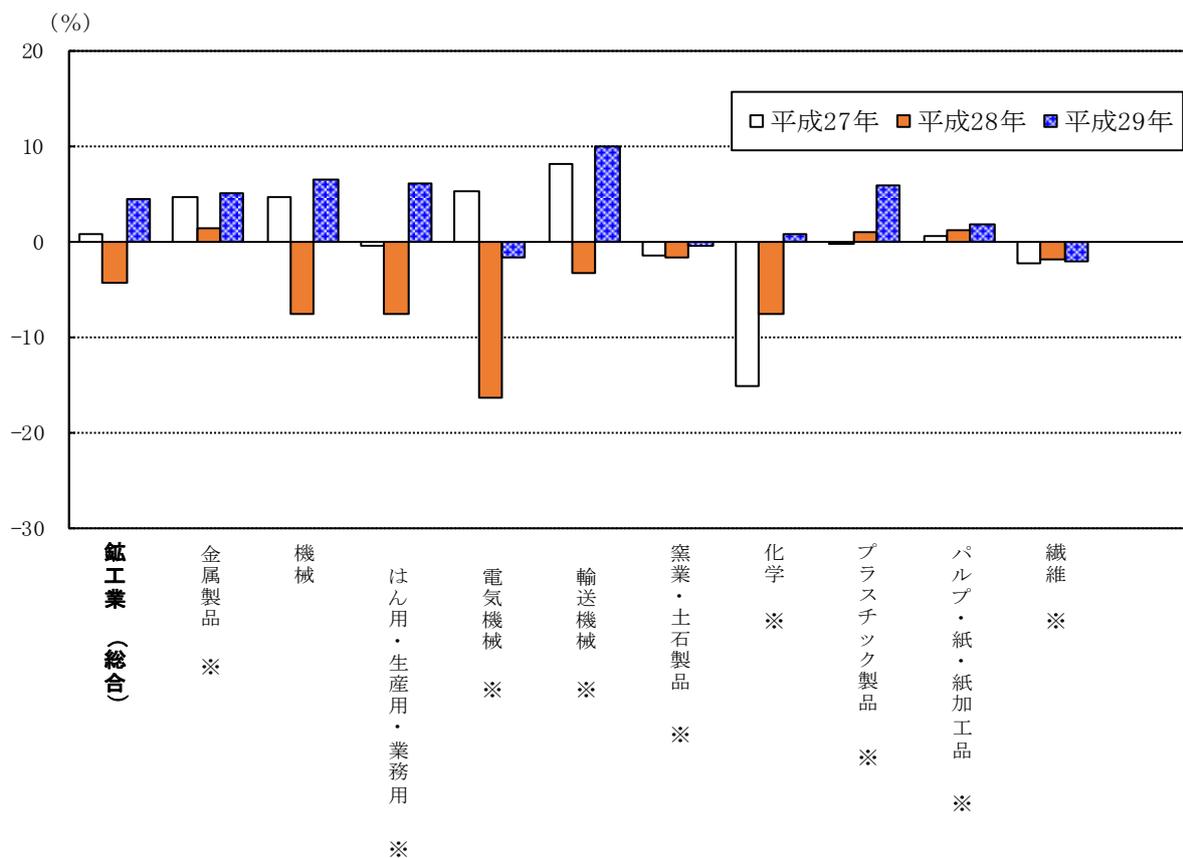


2 主要業種別生産指数の前年比

主要9業種*の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、金属製品工業（前年比5.1%）、はん用・生産用・業務用機械工業（同6.2%）、輸送機械工業（同10.1%）、化学工業（同0.8%）、プラスチック製品工業（同6.0%）、パルプ・紙・紙加工品工業（同1.8%）の6業種となった。

一方、低下したのは、電気機械工業（同△1.6%）、窯業・土石製品工業（同△0.4%）、繊維工業（同△2.1%）の3業種となった。（図-2、表-1）

図-2 主要業種別生産指数の前年比の推移



3 全国、中部との生産指数の比較

平成29年の全国における生産指数は、前年比4.4%の上昇であった。

また、中部においては6.0%の上昇であった。

(平成22年=100)

区分	岐阜県		全国		中部	
	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)
平成24年	99.5	△3.0	97.8	0.6	104.6	8.1
25	97.2	△2.3	97.0	△0.8	106.5	1.8
26	97.0	△0.2	99.0	2.1	111.8	5.0
27	97.8	0.8	97.8	△1.2	111.7	△0.1
28	93.7	△4.2	97.7	△0.1	111.5	△0.2
29	97.9	4.5	102.0	4.4	118.2	6.0

(注)「中部」とは、中部経済産業局管内5県（愛知、三重、石川、富山、岐阜）

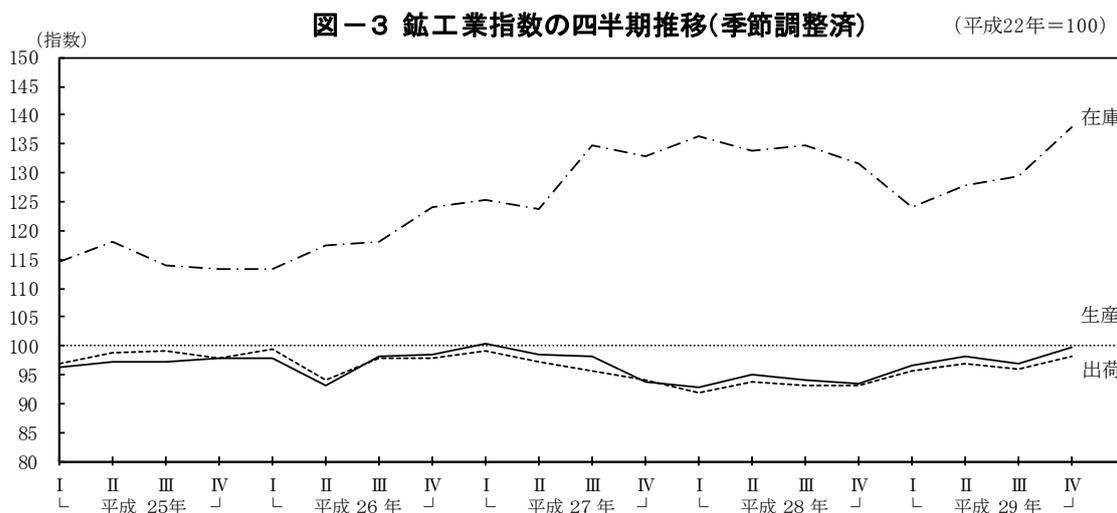
資料：経済産業省、中部経済産業局

<平成29年 岐阜県鋳工業指数の詳細について>

1 鋳工業指数の四半期推移

平成29年の生産指数を四半期ごとに比べると、第1期は3.5%、第2期は1.7%の上昇、第3期は1.4%の低下、第4期は3.2%の上昇となった。出荷指数は第1期、第2期が上昇、第3期が低下、第4期が上昇となった。

また、在庫指数は第1期が低下、第2期以降は上昇となった。(図-3、表-2)

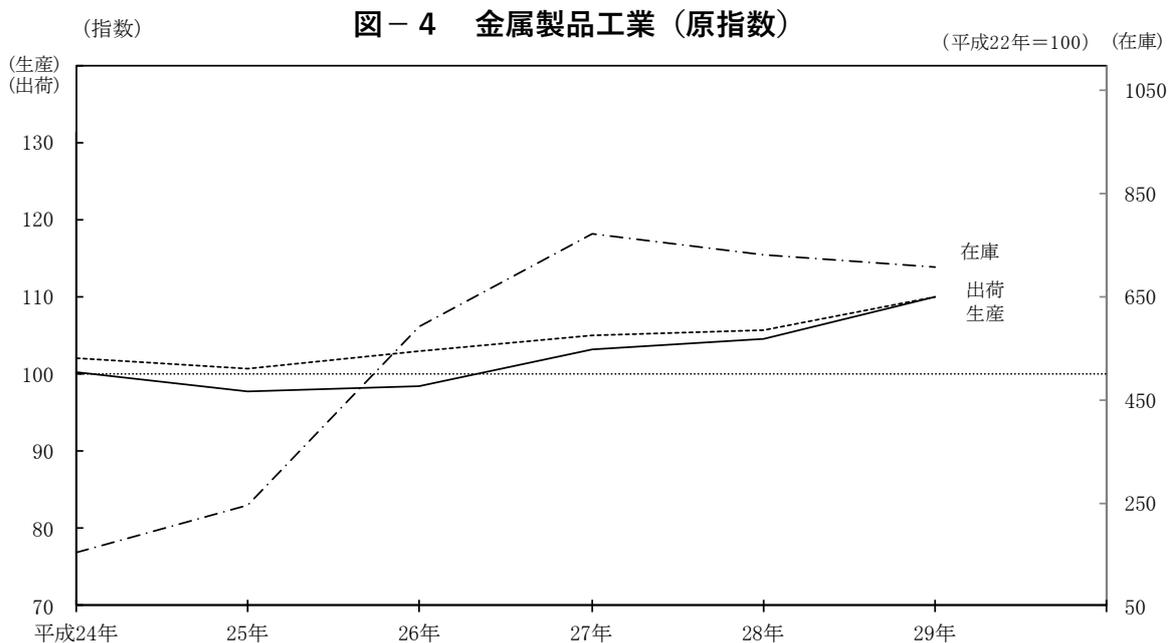


2 主要業種別指数の動向

(1) 金属製品工業

- ・ 生産指数は、ボルト・ナット等が増加したため、前年比5.1%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、ボルト・ナット等が増加したため、前年比4.1%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、アルミサッシ等が減少したため、前年比3.0%の低下となった。

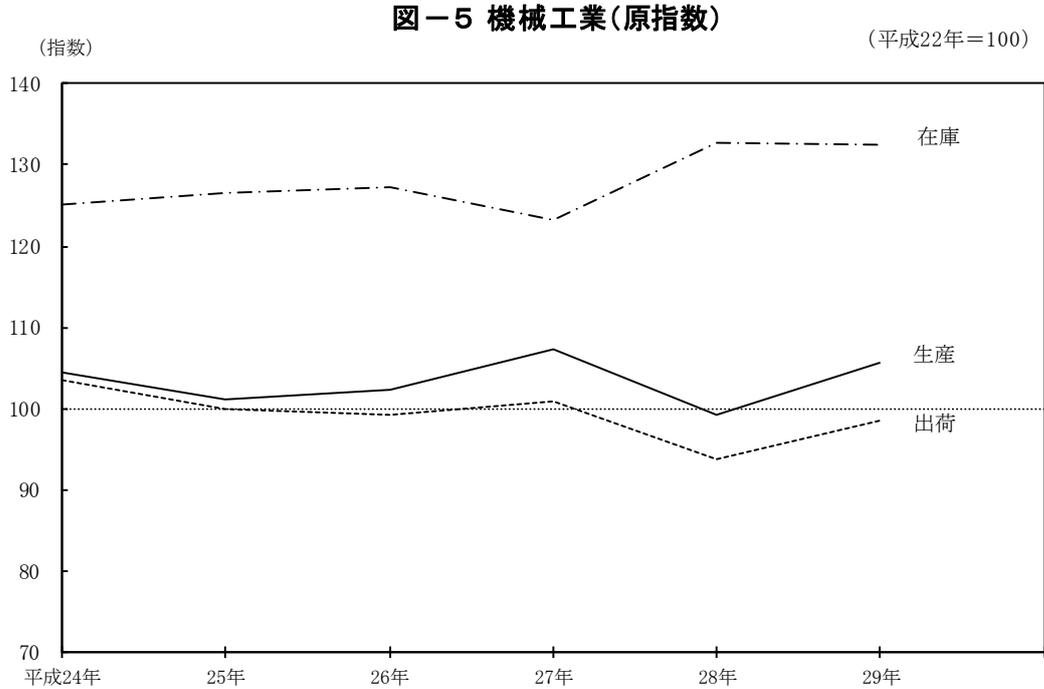
(図-4、表-1)



(2) 機械工業

- ・ 生産指数は、電気機械工業が低下したものの、はん用・生産用・業務用機械工業、輸送機械工業が上昇したため、前年比6.6%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比5.1%の上昇となった。
- ・ 在庫指数は、前年比0.2%の低下となった。

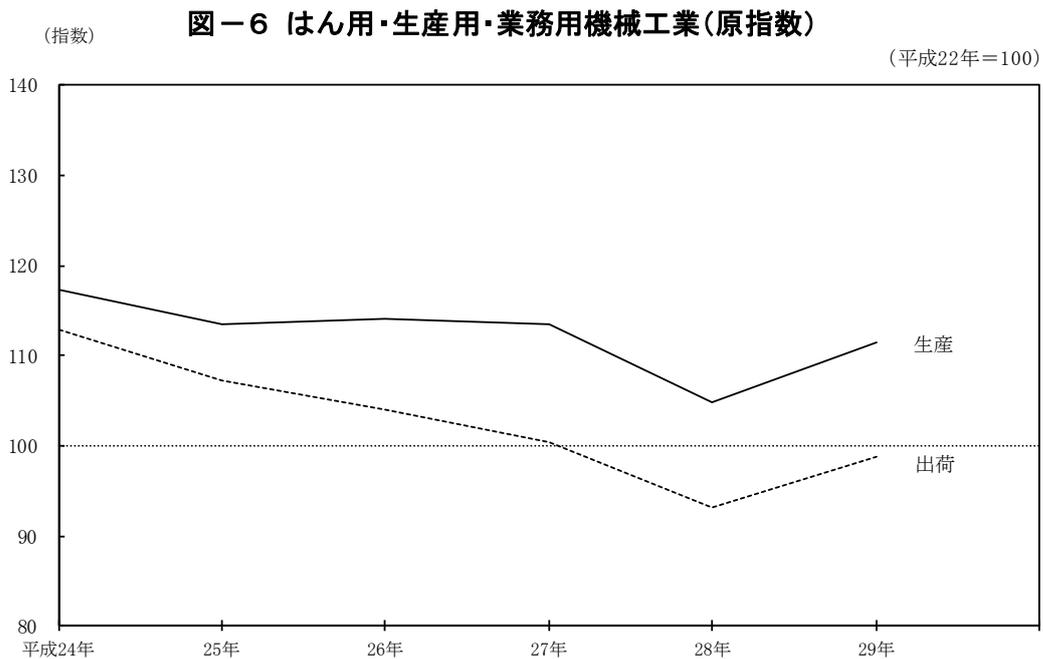
(図-5、表-1)



(2) -ア はん用・生産用・業務用機械工業

- ・ 生産指数は、油圧機器等が上昇したため、前年比6.2%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、油圧機器等が上昇したため、前年比5.9%の上昇となった。

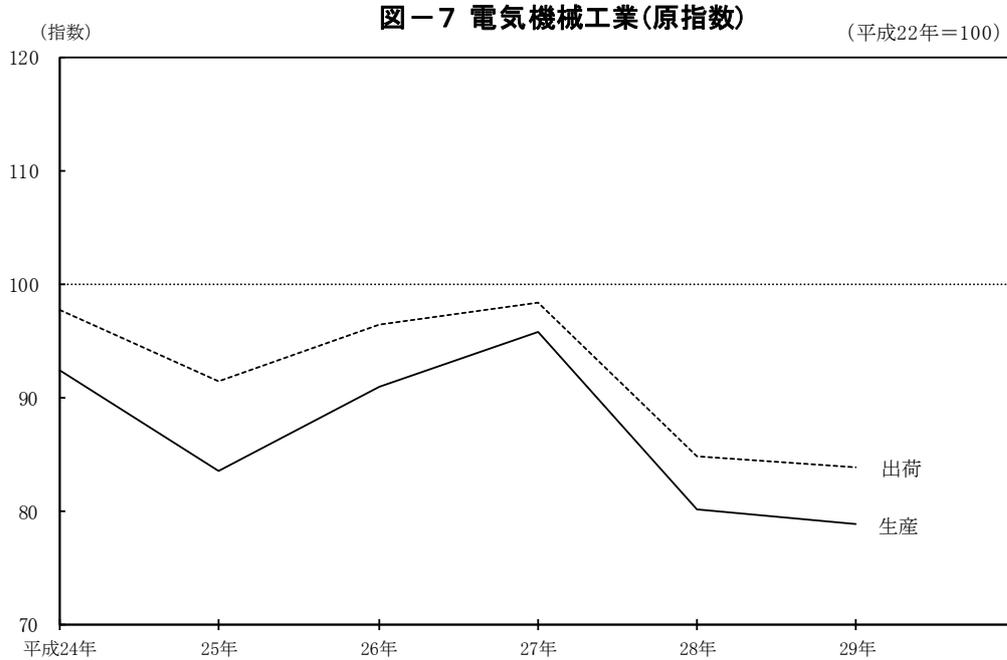
(図-6、表-1)



(2) ーイ 電気機械工業

- ・ 生産指数は、電子回路基板等が減少したため、前年比1.6%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、電子回路基板等が減少したため、前年比1.2%の低下となった。

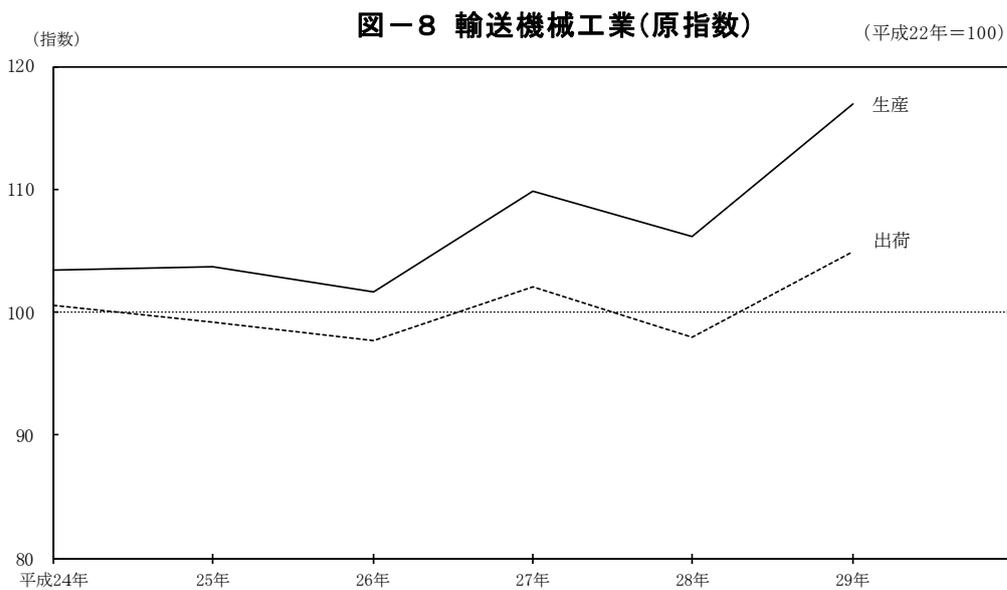
(図-7、表-1)



(2) ーウ 輸送機械工業

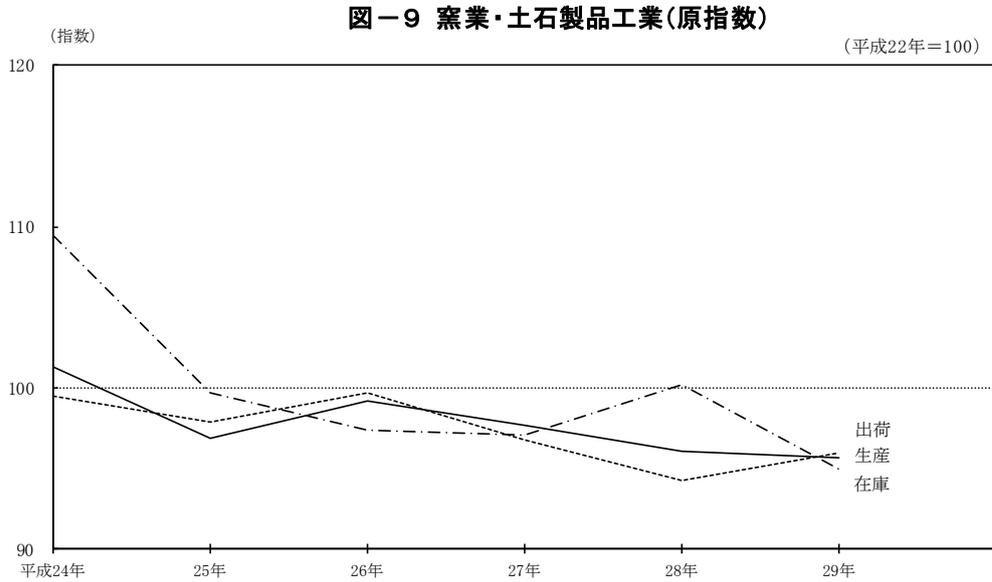
- ・ 生産指数は、前年比10.1%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比7.2%の上昇となった。

(図-8、表-1)



(3) 窯業・土石製品工業

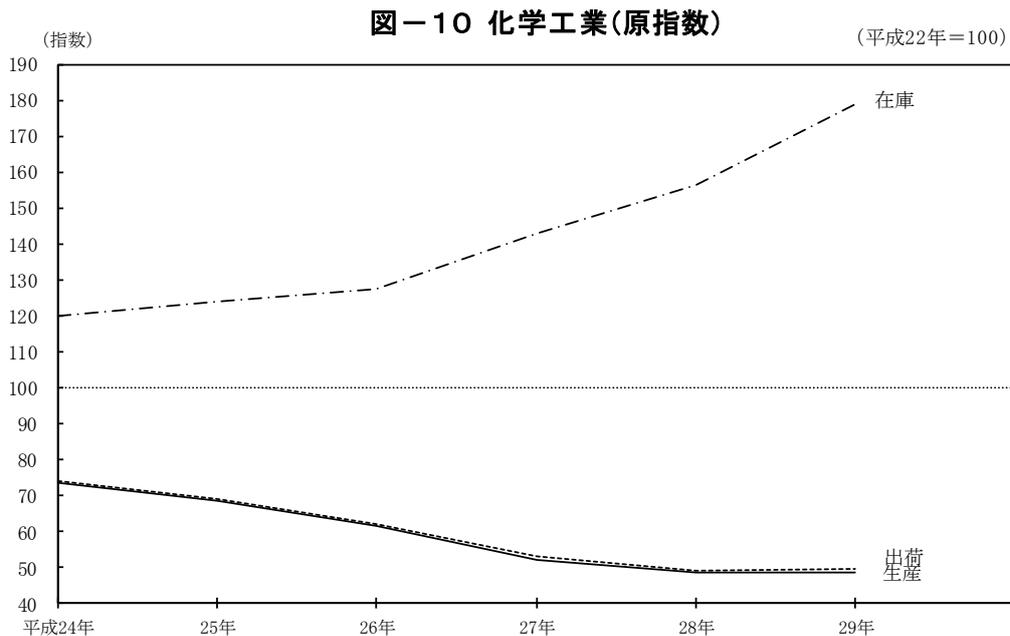
- ・ 生産指数は、陶磁器製台所用食卓用品等が減少したため、前年比0.4%の低下となった。
 - ・ 出荷指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が増加したため、前年比1.8%の上昇となった。
 - ・ 在庫指数は、触媒担体・セラミックフィルタ等が低下したため、前年比5.2%の低下となった。
- (図-9、表-1)



(4) 化学工業

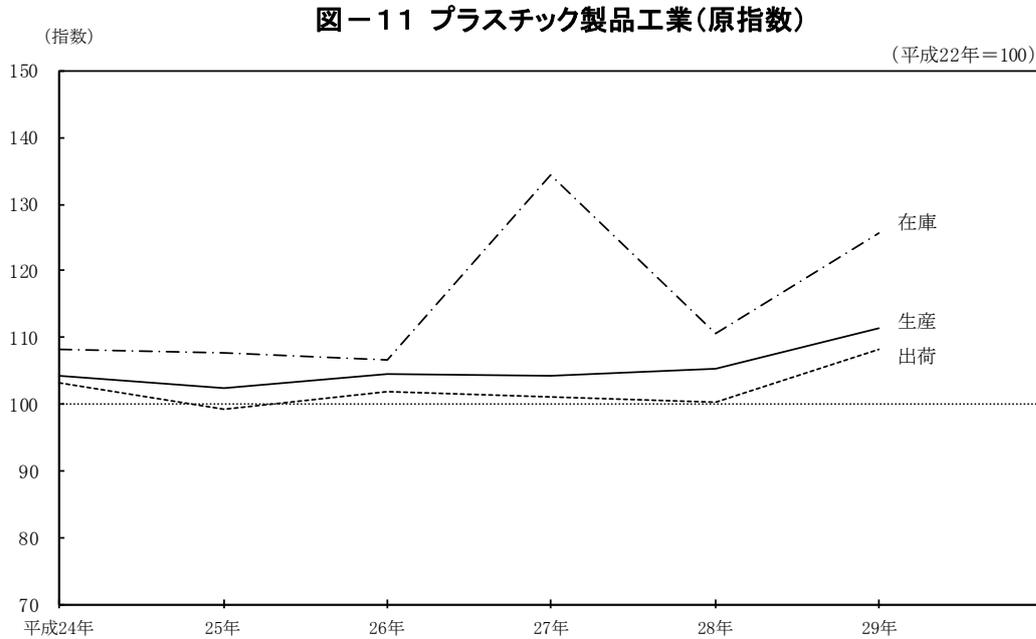
- ・ 生産指数は、前年比0.8%の上昇となった。
- ・ 出荷指数は、前年比1.0%の上昇となった
- ・ 在庫指数は、前年比14.3%の上昇となった。

(図-10、表-1)



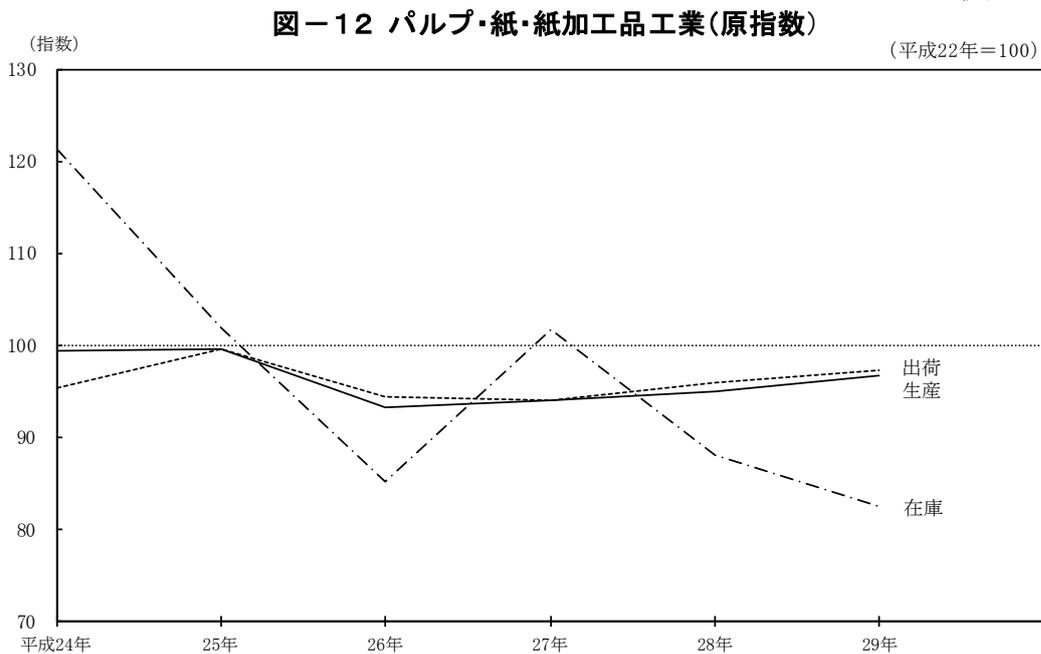
(5) プラスチック製品工業

- ・ 生産指数は、プラスチック製容器等が増加したため、前年比6.0%の上昇となった。
 - ・ 出荷指数は、プラスチック製容器等が増加したため、前年比7.9%の上昇となった。
 - ・ 在庫指数は、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、前年比13.5%の上昇となった。
- (図-11、表-1)



(6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・ 生産指数は、雑種紙等が増加したため、前年比1.8%の上昇となった。
 - ・ 出荷指数は、衛生用紙等が増加したため、前年比1.5%の上昇となった。
 - ・ 在庫指数は、段ボール原紙等が減少したため、前年比6.3%の低下となった。
- (図-12、表-1)



(7) 繊維工業

- ・ 生産指数は、毛糸等が減少したため、前年比2.1%の低下となった。
- ・ 出荷指数は、毛糸等が減少したため、前年比0.3%の低下となった。
- ・ 在庫指数は、毛織物等が減少したため、前年比6.5%の低下となった。

(図-13、表-1)

